

オオウラジロノキ

Malus tschonoskii (Maxim.) C.K.Schn.

バラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

落葉高木で、高さ10mに達する。葉は分裂せず、成葉の裏面に軟毛が残って白色を帯びる。花は白色、径約3cm。短枝の先に数個が散形状につく。果実は径2~3cmの球形で、果肉に石細胞がある点でリンゴ属の他の多くの種とは異なる。

国内分布

本州、九州(九重山)。

県内分布

外浦区、内浦区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

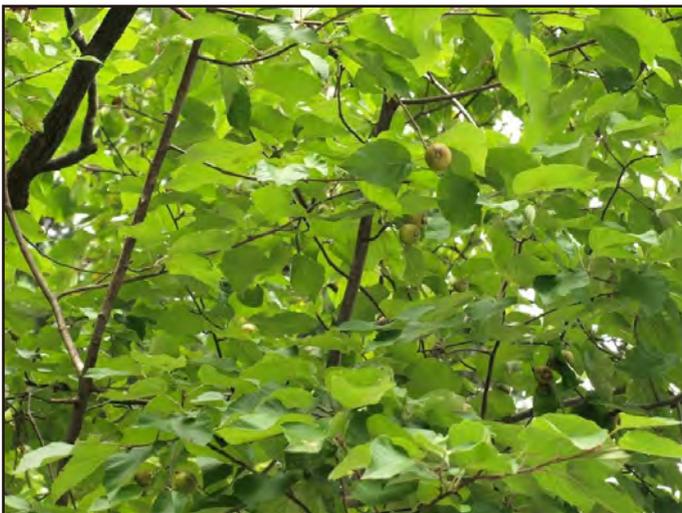
花期は5月。果実は10月頃、黄緑色から淡紅色に熟す。

生育環境

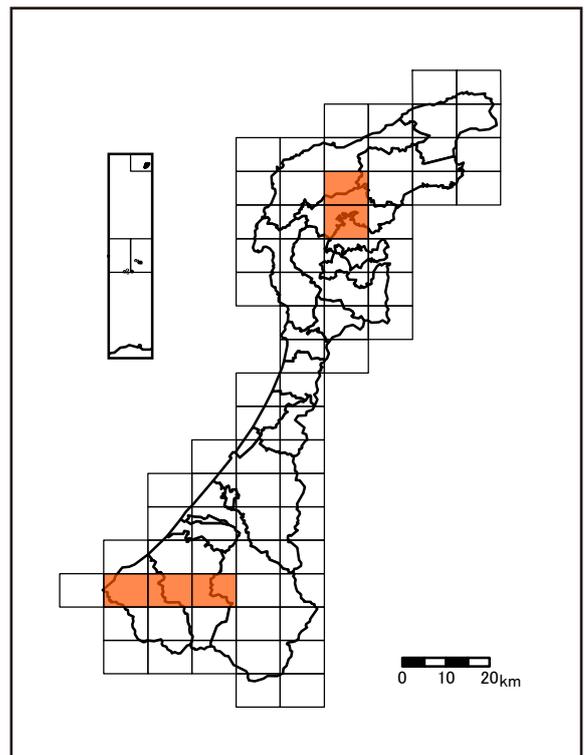
低山帯の広葉樹林中。

危険要因

森林伐採、道路工事、自然遷移、産地局限。



林 二良・2009年9月3日・南加賀



県内の分布